

Factoria News

2023.07

vol.2

Factoria とは

ファクトリアとは、快適な作業環境を実現し、企業価値を高める工場を目指す「工場建設のトータルブランド」です。設備や動線計画といったハード面だけでなく、明るくおしゃれな社員食堂など、スタッフのモチベーションアップまで考えた提案をする、ちょっとユニークな工場建設ブランドです。

環境配慮に力を入れた 物流冷蔵庫の実現

岩手県 | 株式会社十文字チキンカンパニー さま

DATA

株式会社十文字チキンカンパニー

時期：2023年4月竣工

場所：岩手県久慈市

構造：鉄骨造1階建

面積：延床1970.53㎡ (596.08坪)

昨

年の夏に着工した株式会社十文字チキンカンパニーさまの「久慈第2冷蔵庫」が、今年の4月に無事竣工しました。株式会社二戸設計にて設計し、弊社が施工を担当しました。株式会社十文字チキンカンパニーさまでは岩手県産の鶏肉にこだわり、生産から加工・販売までを一貫して行っています（写真1）。

過

去には同社のバイオマス発電所、ブローラー工場、スープ工場の新築工事に携わらせていただきました。今回の計画は、東日本大震災の復興支援を目的とする「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（第10公募）」を活用しました。今回の事業は、本補助金において第4次、第8次公募に次ぐ3回目の採択となり、大震災からの復興の集大成と位置付けた事業とのことでした。物流冷蔵庫ということで、冷媒システムについて吟味し、2021年からご提案を繰り返し返してきました。業者選定いただいた後も綿密な打ち合わせを行い、昨年の夏より工事を開始。今年の4月に完成し、お引渡しいたしました。

久

慈第2冷蔵庫ではイーターマックスシステムを採用しています。イーターマックスとは、最大効率で急速冷凍を実現する新システムです。今回の冷蔵庫は、脱フロン推進の観点からCO₂を使った自然冷媒を採用するなど、環境にも優しい物流冷蔵庫となっております。この冷媒システムの導入事例が北海道にあり、お客様も一緒になって見学させていただきながら、検討を重ねました（写真2）。冷蔵庫エリアでは大規模な移動棚を採用し、1000トンほどの鶏肉を保管する事が出来ます（写真3）。

屋

根には、年間使用電力量の約10%をまかなう発電量の太陽光パネルを乗せています（写真4）。さらに自然冷媒を採用したことで従来に比べ約35%の環境負担低減を実現しています。環境配慮に力を入れている十文字チキンカンパニーさまらしい建物に仕上がりました。

降

雪量も多い地域で、工期の遅れなどのスケジュールで建物をお引渡しする事ができました。5月に行われた竣工式には、従業員の皆様はもちろん、県や市の関係者のみなさまにもご参加いただき、事業のさらなるご発展をお祈りしました！



1



2



3



4



2



3



1

DATA

株式会社 瀬戸水産

時期：2023年3月竣工

場所：神奈川県伊勢原市

構造：鉄骨造2階建

面積：延床1,195.02㎡(361.5坪)

「鮮度」という価値を届ける新工場、竣工！

神奈川 | 株式会社 瀬戸水産 さま

2 022年6月に着工した株式会社瀬戸水産さまの関東営業所第2工場が2023年3月に竣工しました（写真1）。

同社は本社を香川県三豊市に置き、鮮魚加工や卸売りを営んでいます。

関 東営業所ではサーモン加工を中心に行っており、国内での需要拡大に伴い、第2工場の建設計画にお声がけをいただきました。第1工場は居抜き物件を購入した経緯もあり、交差汚染の恐れや各工程に適したボリュウムが確保できていないという課題がありました。それらの課題に因應するため、製造工程などを入念なヒアリングのち、2021年2月から現地調査をスタート。瀬戸水産さまのこだわりの1つである『加工から出荷まで冷凍しない「鮮度』という価値提供を実現するために、効率的な動線計画を行い、高度な衛生管理に対応可能な水産加工工場を目指しました。約2年の歳月を経て生産量1.5倍を実現する第2工場が完成しました。

ト ラックの通行可能な道路が敷地に對して1面のみという土地の条件だったため、製造エリアは入出荷口をか所にまとめた「一周回動線」の計画としました。この場合、人・製品・空気の動線が混線する可能性があるため、入出荷口には気密性の高いドックシエーターを設置、各作業室は工程ごとに汚染区域・準清潔区域・清潔区域に分類し、床の色分けを行いました。区域ごとに床の色を

塗り分けることで、従業員の衛生管理に對する意識づけに効果があります（写真2・3）。また、お引渡後、早々に稼働できるように、生産機械に必要な設備配管や床勾配、マシンハッチなど、計画段階からお施主様・生産機械メーカーと3社間で打合せを行い、後工事の少ない計画としております。油分が発生する加工エリアはアルカリ電解水の洗浄方法に合わせ、錆予防対策としてステンレス製のパネルを採用しました（写真3）。

事 務室は外からも社員が働く姿が見えるようガラスパーティションで間仕切り、明るく開放的な空間となっています（写真4）。会議室は木目の床やテール、グリーンの壁などナチュラルな印象のものを取り入れ、落ち着いた雰囲気でのゆつくりと会話ができる空間にしています（写真5）。休憩室は木目の床や家具を採用した温かみのあるカフェ風のインテリアとしています（写真6）。それぞれが思い思いに過ごせるように、休憩や取引先とのミーティング、ソロワークなどの幅広いシーンを想定し、多様なコミュニケーションションが図れるオープンな空間となっています。今回は内装提案に併せて、お客様のイメージにあう家具もご提案いたしました。

2023年5月に開催された竣工式には香川本社から瀬戸社長にもお越しいただきました。活気あふれる新工場で、おいしいサーモンが全国に届けられることを楽しみにしております！



6



5



4

持続可能な社会を考える

ZEBってなに?



地 球温暖化が進み、巨大台風や大雨による甚大な被害が年々増えてきました。温暖化によって海面の温度が上昇し、大気中の水蒸気が増加することが要因のひとつとして考えられます。温暖化を食い止める具体的対応は世界の共有目標となり、CO₂などの温暖化ガスの排出削減努力が求められています。日本でも、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル・脱炭素化社会を目指す」ことが明言されました。脱炭素化社会に向けた有効な選択肢のひとつに「ZEB」があります。

ZEBとは、Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーの収支をゼロにすることを目指す建物のことです。ZEBを達成するために必要なこととして、まずは省エネの徹底です。建物の断熱性を

高め、高効率な電気設備や日射を活用した間取りなどを取り入れるなどの工夫をします。続いて創エネの活用。消費するエネルギーを太陽光発電のような再生可能エネルギーでまかなうことで、エネルギー消費に伴うCO₂排出量を実質ゼロにすることができるのです。この省エネと創エネの割合によって、いくつかの種類に分けられるのですが、それはまた次の記事にご紹介します。

2 021年9月、タカヤにて設計・施工したオフィスビルが岩手県初のZEBに認定されました。高断熱化、高効率電気設備、南面に3m伸ばした庇など、徹底した省エネ努力により、基準となる電気消費量(一次エネルギー消費量)を52%削減しました。併せて電気使用量の50%を補完する太陽光発電設備を採用し、結果として、電気消費量102%分のCO₂削減を可能にしました。

現在、実証実験の一環としてこのZEBオフィスビルをタカヤ盛岡みなみ支店として利用しています。2023年からは「ZEBプランナー登録業者」として、みなさまの脱炭素化経営に向けた建物のご提案を行っております。盛岡みなみ支店の見どころも含め、次号ではZEBについてさらに詳しく紹介させていただきます!

建物をZEB化するメリット

1. 光熱費の削減

エネルギー消費量を削減し、建物の運用に係る光熱費を削減することができます。

2. 快適性・生産性の向上

自然エネルギーの適切な活用により、省エネルギーを実現しつつ快適性・生産性を向上させます。

3. 不動産価値の向上

ZEBのような環境・エネルギーに配慮した建物は、不動産としての価値を高め、街としての魅力の向上などにつながります。

4. 事業継続性の向上

災害等の非常時において必要なエネルギー需要を削減し、再生可能エネルギーの活用によって部分的にはあってもエネルギーの自立を図ることができます。



▲ 創エネの主となる太陽光発電



▲ 盛岡みなみ支店



ファクトリアがご提案する外観デザイン

前回(vol.1)のファクトリアニュースで工場内部のポイントをご紹介したサイトウ工機さまですが、今回は外観デザインをお見せします！ 今回の工場新築に伴い、新たな企業ロゴを作成されました。歯車加工を営む会社さまということもあり、正面にはステンレス鋼の看板サインを取り付けました。外観の落ち着いた青色にシルバーの看板が映えて非常にかっこいい仕上がりです。夜にはLEDのバックライトが点灯し、ロゴが浮かび上がります。工場のかっこよさを引き立てつつ、近隣の住宅地にも馴染むデザインとなっています。

DATA

株式会社 サイトウ工機

時期：2022年12月竣工
場所：神奈川県川崎市
構造：鉄骨造3階建



新工場の見学会を開催します！



今年8月に完成する工場の完成見学会を行います。普段なかなか見られない新築工場の中を、特別に期間限定でご覧いただけますので、ぜひお越しくださいませ！

日時・場所

日時：8月24日(木)～8月26日(土) 10:00～16:00

場所：徳島県板野郡板野町

建物概要

用途：れんこん加工工場 延床面積：1,376.98㎡(416.54坪)

構造：鉄骨造2階建

見学会は完全予約制となっております。

詳細はお電話もしくはWEBサイトにてご確認ください。

お電話：089-995-8740

WEBサイト：<https://factoria.jp/tour-tokushima01/>



展示会レポート

「FOOMA JAPAN2023」

6/6(火)～6/9(金)に東京ビッグサイトにて行われた世界最大級の食品製造総合展、FOOMA JAPAN 2023に出展いたしました！たくさんのお客様が



来場し、工場のお悩みや新工場の建設計画をお聞かせいただきました。ご来場いただいたみなさま、誠にありがとうございました！

今回は予定が合わず来場できなかったみなさまへ、次回の展示会のご案内です。同じく東京ビッグサイトで行われる、フードファクトリー2023に出展いたします！弊社のような建設業以外にも、設備改善やエンジニアリングに関わる企業さまが集まっておりますので、お気軽にお越しください！

フードファクトリー2023

日時：9/20(水)～9/22(金) 10:00～17:00

場所：東京ビッグサイト

住所：東京都江東区有明3-11-1



Factoria®

by TAKAYA

全国対応いたします。お気軽にご相談ください。

ファクトリア (株式会社タカヤ 東京本社)

〒112-0004 東京都文京区後楽一丁目1番10号 日本生命水道橋ビル4階

TEL.03-3813-8111 FAX.03-3813-8112 [担当]白岩・原田

<https://factoria.jp>

工場建設 ファクトリア

検索

盛岡本社

〒020-8588 岩手県盛岡市本宮5丁目5番5号
TEL.019-658-9804 FAX.019-658-8811
[担当]大野

四国支店

〒790-0047 愛媛県松山市余戸南3丁目6番30号
TEL.089-995-8740 FAX.089-995-8761
[担当]一宮・藤岡